

2025年4月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社 **ナデックス**



(単位：百万円)

	23年度 3Q累計実績	24年度 3Q累計実績	増減	24年度 通期予想※2	進捗率
売上高	23,313	25,984	+ 2,670	37,300	69.7 %
営業利益	308	180	△ 127	650	27.8 %
経常利益	512	264	△ 247	740	35.8 %
四半期純利益又は 四半期純損失※1 (△)	301	△ 264	△ 565	150	— %

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

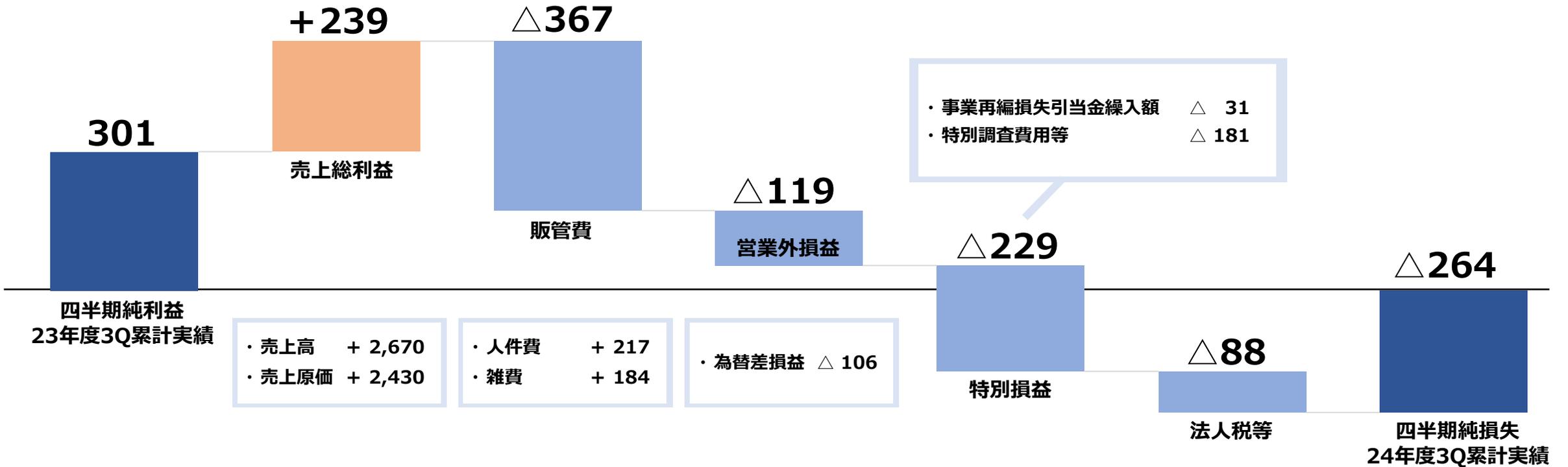
※2 2025年2月14日に修正

- 売上高は、259億円となり、前年同期比26億円の増収。
- 営業利益は、1.8億円となり、2 Q累計から黒字転換。
- 経常利益は、2.6億円となり、営業外費用として為替差損を計上したものの、2 Q累計から黒字転換。
- 四半期純損失は2.6億円となり、不正事案に関する一過性の影響はあったものの、赤字幅は2 Q累計から改善。

四半期純利益の増減要因



(単位：百万円)



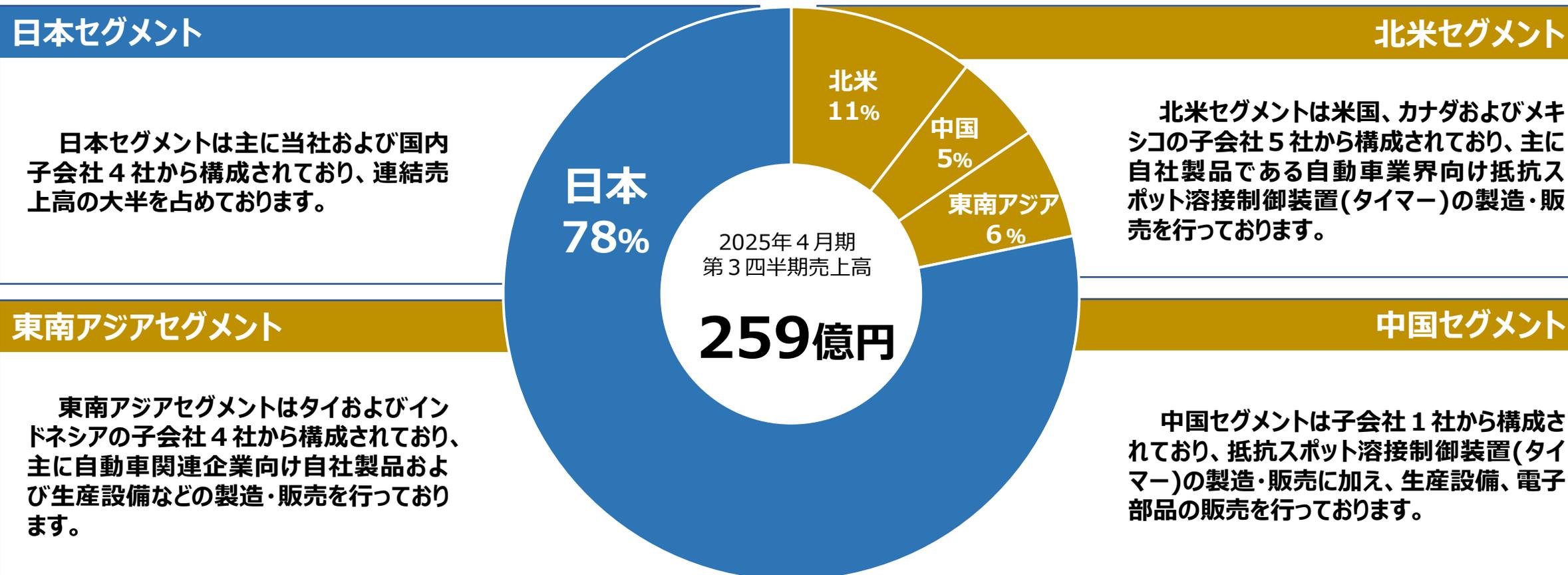
- ▶ 売上総利益は前年同期比2.3億円の増益。
日本セグメントにおいて、自動車業界向け自社製品、電気機器関連企業向け生産設備の売上増加が主な要因。
- ▶ 販管費は人件費の増加に加え、M&A関連費用などにより雑費が増加。
- ▶ 特別損益として中国子会社の事業再編損失、不正事案に対する特別調査費用等の一過性費用を計上したことなどにより、四半期純損失は2.6億円。

地域別セグメント



➤ 当社グループは、製造・販売体制を基礎とする地域別の4つのセグメント(日本、北米、中国および東南アジア)から構成されております。

■ 国内 ■ 海外



※ 比率は、セグメント間の内部売上高を除く構成比

地域別セグメント



(単位：百万円)

	売上高※			営業利益又は営業損失(△)		
	23年度3Q累計実績	24年度3Q累計実績	増減	23年度3Q累計実績	24年度3Q累計実績	増減
日本	18,889	20,900	+ 2,011	128	149	+ 21
北米	2,728	2,770	+ 42	216	8	△ 208
中国	1,335	1,372	+ 37	△ 47	△ 63	△ 16
東南アジア	950	1,639	+ 689	32	81	+ 49

※ セグメント間の内部売上高を含む



➤ 当社グループは、次の4つを主要な事業として行っております。

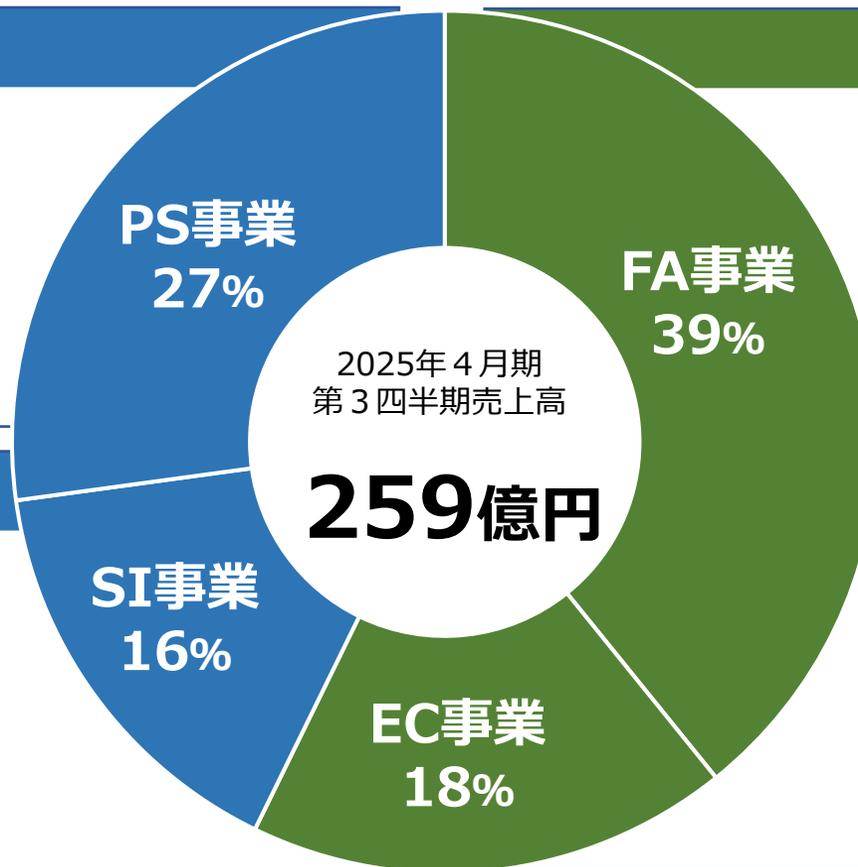
■ メーカー機能 ■ 商社機能

プロセスソリューション(PS)事業

国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

システムインテグレーション(SI)事業

お客様が求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。



ファクトリーオートメーション(FA)事業

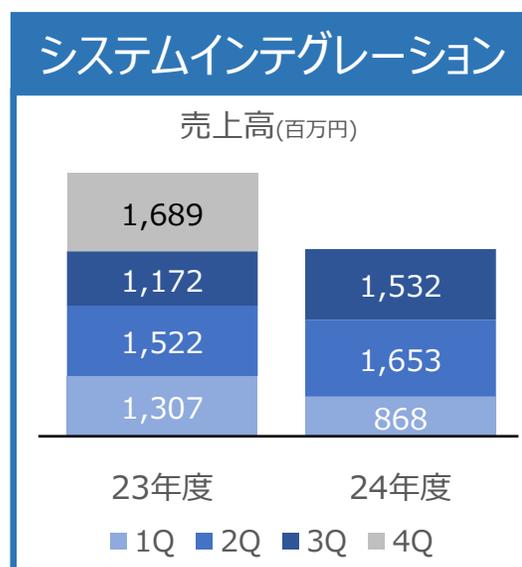
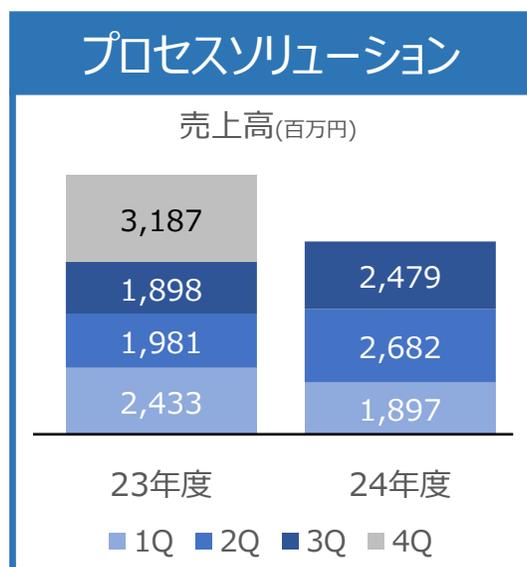
ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

制御部品(EC)事業

電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客様の課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。

(単位：百万円)

	23年度3Q累計実績	24年度3Q累計実績	増減	
プロセスソリューション(PS)事業	6,313	7,059	+	745
システムインテグレーション(SI)事業	4,003	4,054	+	51
ファクトリーオートメーション(FA)事業	8,934	10,188	+	1,254
制御部品(EC)事業	4,061	4,681	+	619



地域別×事業別売上高と増減要因



(単位：百万円)

	日本			北米			中国			東南アジア		
	23年度3Q	24年度3Q	増減	23年度3Q	24年度3Q	増減	23年度3Q	24年度3Q	増減	23年度3Q	24年度3Q	増減
PS事業	3,415	4,178	+ 763	2,310	2,465	+ 154	479	229	△ 250	107	185	+ 77
	自社製品の販売増加			—			日系自動車の生産能力削減			—		
SI事業	3,509	3,459	△ 49	90	108	+ 17	—	—	—	403	486	+ 83
	—			—			—			—		
FA事業	7,744	8,611	+ 867	234	135	△ 98	525	596	+ 70	430	845	+ 414
	堅調な設備需要			—			—			日系自動車の生産能力拡大		
EC事業	3,754	4,082	+ 328	—	—	—	303	486	+ 183	4	111	+ 106
	半導体の生産回復			—			—			—		

(注) セグメント間の内部売上高を除く売上高の3Q累計実績を記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

- **本資料に開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知および未知のリスクや不確実性およびその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。**
- **こうしたリスク、不確実性およびその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。**
- **従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。**
- **本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。**